

# あなたのそばにも貴重な文化財 ～文化財を大切に～

「文化財」と聞いて、どのようなものを思い浮かべるでしょうか。文化財は世界遺産や国宝だけではなく、八千代市の中にも数多くあります。文化財から見える昔の暮らしの知恵と技術は、今の暮らしを見直すヒントを与えてくれる貴重な財産です。皆さんの周りにも、眠っている八千代の文化財はありませんか？

お問い合わせは  
文化・スポーツ課文化財班 ☎481-0304  
郷土博物館 ☎484-9011へ

## どんなものが文化財？

※以下で紹介するもの以外にも、美術工芸品や伝統工芸技術、伝統的建造物群などさまざまなものが、文化財保護法で文化財として位置づけられています。

### 古い書物、写真



◀天保七年米本村絵図  
(市指定文化財)

古い書状や帳面、絵図、手紙、日記などは昔の八千代の様子をありのままに伝えてくれる貴重な資料です。個人で撮影した写真も、写された風景や人物の様子からさまざまな情報を読み取ることができます。

### 昔の道具



◀昔の農具

旧石器時代の石器や縄文時代の土器にはじまり、近現代の農業や酪農といった産業の道具、衣食住の道具に至るまで、人の営みを支えたあらゆる道具には、時代や場所に応じた特徴があります。

### 伝統行事



◀高津新田のカラスビシヤ  
(市指定文化財)

七五三、婚礼、葬式など人生の行事や、正月、盆など家庭で行う季節の行事、獅子舞、オビシヤ、祭りなどの地域の行事。日常の中で行われてきた数多くの行事には、地域の特色が強く表れています。

### 昔の建物



◀正覚院釈迦堂  
(市指定文化財)

寺院や神社といった建築物のほか、昔ながらの民家や店舗など、外観や内装はもちろん、素材や建築技法なども地域の気候や風土に合わせて異なる特徴をもっています。

### まちの中で見かけるもの



◀庚申塔  
(七百餘所神社)

道端の石碑や道しるべなども、その土地で生きる人びとが設置した暮らしの名残です。また、八千代市ならではの風景や動物・植物も地域の特色を表す一部です。

### 遺跡



◀発掘調査の様子

市内にはさまざまな時代の遺跡が約300か所あります。多くは地中にあるため目に見えませんが、数百年、数千年前の人の暮らしの名残が数多く残されています。

## 見つけてください八千代の文化財

教育委員会では、古い書物・道具の調査や受け入れ、伝統行事や昔の暮らしの様子の聞き取り調査、工事で壊れる恐れがある遺跡の発掘調査など、文化財を後世に残すための活動を行っています。

また、重要な文化財を市指定文化財として、現在28件を保護しています。しかし、八千代市の文化を伝える財（たから）はまだまだあるはず。[昔の八千代]に目を向け、大切にしていきたいと思います。また、八千代の文化財についてご存じのことがありましたら、情報をお寄せください。